

平成 27 年 10 月 28 日

## 平成 27 年度環境技術実証事業

## 第 6 回 自然地域トイレし尿処理技術セミナー

## ＜実施概要案＞

## 【基本方針】

実証事業の PR および自然地域トイレし尿処理技術を改善・普及させることを目的とした技術セミナーを開催する。「環境技術実証事業」についての ①実施の意義と効果を示し、②実施プロセスの概説、③導入事例、④実証事業の普及の可能性・候補事例、および⑤山岳トイレの整備動向を紹介する。

## 【内容について】

これまで、平成 23 年度は「ガイドブック」を解説、平成 24 年度はセミナー後に「技術相談会」を実施、そして平成 25 年度は過去の実証技術のフォローアップを兼ねた「ポスター展示説明会」を開催するなど毎年新たな企画を盛り込み、昨年度も多くの方にご参加いただいた。

今年度も実証事業の概要についてはポイントのみの紹介とし、来年度以降の経年実証試験の可能性の模索など、過去の実証技術の推進を図るため、既に申請したメーカーのポスター展示を行う。技術相談会についても年々参加者が増加していることから、本年度も開催時間を拡大し、セミナープログラムの 1 つとして位置づけ実施する。

## 【開催概要】

- 時 期 : 平成 28 年 2 月 \_\_\_\_ 日(\_\_\_\_) 13:00～16:40 (12:15 受付開始)  
※12:30～12:55、および休憩時間と終了後に  
ポスター展示会を実施  
※17:00 より交流会を予定
- 会 場 : 東京都内 (案)
- 主 催 : 環境省
- 定 員 : 100 名程度 (先着順)
- 対 象 : 地方公共団体、山小屋事業者、技術開発者等、  
自然地域し尿処理技術に関心のある方
- 事務局 : 特定非営利活動法人山の ECHO  
東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F 電話: 03-6809-1518

## 【プログラム(案)】

<時間>	<内容>
12:30 ～12:55	===== <b>ポスター展示説明会</b> ===== 展示案⇒ 実証済みメーカー数社および導入施設（山小屋等）、ETV 解説
<b>第1部 自然地域トイレし尿処理技術セミナー</b>	
13:00	□開会あいさつ (環境省大臣官房参事官 (自然環境局自然環境整備担当))
【実証事業の紹介】	
13:10	■概説 実証事業の意義と実施により得られる効果 河村清史 (元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授)
13:30	■実証試験結果の見方と活用 伊与 亨 (北里大学医療衛生学部 講師)
13:50	■自然エネルギーの活用と実証事業の効果 木村茂雄 (神奈川工科大学 教授)
【実証事例の報告】	
14:10	■平成 26 年度の実証済技術の紹介 移動式循環型水洗バイオトレスシステム (水使用 -生物処理 -バイオチップ) ○○○○○ (株式会社ビオ・ミクト)
14:30	====休憩==== <b>ポスター展示説明会</b> =====
【実証講座】	
15:00	■パネルトーク 「自然地域トイレし尿処理実証技術実証事業の今後の展開と役割」 ◎パネリスト 平野 潤 (静岡県暮らし・環境部環境局 自然保護課 課長) 泉 光博 (環境省自然環境局国立公園課 公園事業専門官) 穂苅康治 (槍ヶ岳観光(株) 代表取締役) ◎コメンター 河村清史 (元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授) ◎進行 上 幸雄 (NPO 法人山のECHO 代表理事)
15:50	□質疑応答 (全体)・まとめ
16:00	終了 (第1部)
<b>第2部 自然地域トイレし尿処理技術相談会</b>	
	◎進行 加藤 篤 (NPO法人山のECHO) ◎相談員 河村清史 (元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授) 桜井敏郎 (公社)神奈川県生活水保全協会 理事) 他 環境省自然環境局
16:10	□オリエンテーション (技術相談会の進め方)
16:15	□個別ミーティング (個別具体的な事案)
16:50	閉会
17:00～	====交流会 (場所は会場周辺を予定し、当日に連絡)====

※プログラムの内容は変更する可能性があります。